



令和8年度 久松小学校グランドデザイン

学校教育目標

やさしく かしこく たくましく
～考え表現する力 高め合う力 やり抜く力で 未来をつくる～

学校で育てたい資質・能力

高め合う力【共感・協働・共伸】

(やさしく)
○他者に心を向けて聴き、互いに思いやり、認め合い、高め合う姿

考え表現する力【思考・判断・表現】

(かしこく)
○主体的に取り組み、自他の考えや思いをつなげて考え、表現する姿

やり抜く力【継続・調整・挑戦】

(たくましく)
○やり遂げた経験をもとに自分を高めようと粘り強く次の目標にチャレンジする姿

経営目標

「主体的に考え、表現し、高め合い、やり抜く力 で未来をつくる」児童を育む学びの保障
(1) 自立した学習者に必要な資質・能力の育成をめざす取組の推進
(2) 授業力および教職員組織力の向上 (学習する組織へ)

めざす子どもの学びの姿

(2) 指導観・学習観の転換と学力の確実な定着
・主体的・協働的な学びの授業
・問いを生む学習活動と基礎学力の定着
・資質・能力を明確にした教材研究と授業改善
・規範意識と自立した学習習慣の育成

(1) 安心して学べる学校・学級づくり

- ① 支持的風土の醸成
・安心・所属・承認・自立
- ② 関わり合いの促進
・語らいによる協働
・組織的活動と役割意識

(3) 心の教育の充実

- ・人間関係力の育成
- ・自治的活動の充実
- ・特別支援教育の充実
- ・勤労・奉仕の心の育成
- ・道徳教育の充実

6つの実践フレーム (エンジン)

① 自治活動のチャレンジ

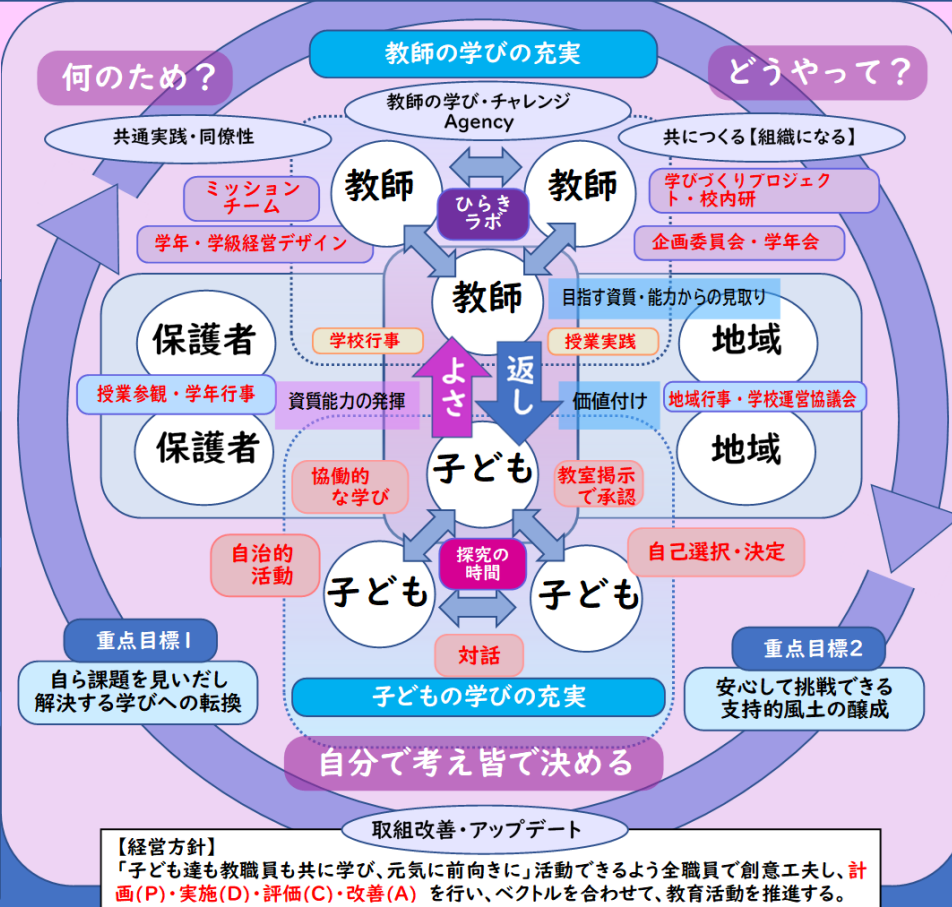
- (場：児童会、委員会活動、学級)
- 児童会役員を中心とした学校づくり
- 「学校づくり」を目指した委員会活動

③ 学習する組織の基盤づくり

- (場：ひらきラボ【仮称】)
- 心理的安全性の確保
- 自分たちの教育を見つけ学校の力へ

⑤ 地域・保護者との共有と発信

- (場：各種行事・教育活動・総合・PTA)
- 授業参観(懇談会)、面談、学年通信等
児童の様子や日々の教育活動の発信
- 社会に開かれた教育課程の実践
地域人材活用・CS



(4) 健康・安全教育と体力向上の充実
・体育授業の充実
・体力・運動能力の向上
・運動習慣の形成
・健康教育の充実
・安全意識と命を守る力の育成

(5) 家庭・地域との連携
・あいさつ習慣の育成
・基本的生活習慣の定着
・健康教育における家庭連携
・教育活動の情報発信
・学校運営協議会との協働の育成

② ミッションチーム (場：学びづくりP・校内研・学年会)

- 低学年「架け橋サポートチーム」
- 中学年「協力チャレンジチーム」
- 高学年「自立チャレンジチーム」
- 特別支援チーム○学年・専科チーム

④ 学びづくりプロジェクト (場：日常の教育実践・校内研)

- 学びの質の向上
- 学びを支える土壌づくり
- 校内研修の日常化○探究の時間の工夫
- ・各学級・学年においてプロジェクトの視点で実践を工夫・共通実践

⑥ 実践を支える働き方・働きがいの再設計 (場：企画委・学年会・放課後・ひらきラボ)

- 職員会議の廃止と「学年会」への移行
- 学年会の充実(毎週月に位置付け)
- 下校後の時間確保(週時程の再設計)
- 立ち止まり振り返る語らいの場

【経営方針】
「子ども達も教職員も共に学び、元気に前向きに」活動できるよう全職員で創意工夫し、計画(P)・実施(D)・評価(C)・改善(A)を行い、ベクトルを合わせて、教育活動を推進する。

『全ての子どもたちの学びを保障する学校をつくる』